

青梅市の公の施設指定管理者評価シート 令和3 年度実施分

施設名	青梅市御岳山ふれあいセンター		
指定管理者名	御岳山自治会		
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	担当課	教育部社会教育課
設置目的	豊かな自然とのふれあいの中から、生涯学習の振興と市民相互のふれあいを図り、心身の健全な発達に寄与すること		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	管理日誌・指定管理者事業報告書	A	適正な職員の人員配置 協定や事業計画どおりの管理となっている	A	御岳山自治会内で緊急連絡網を設置し、連携を取っている。施設利用は主に各宿坊利用者からの申出を受け利用されており、各宿坊で責任を持って対応し、協定にもとづき管理している。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	管理日誌	A	管理日誌の提出	A	「青梅市御岳山ふれあいセンター管理日誌」の提出により報告を適切に受けている。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	管理日誌・事業報告	A	管理日誌の作成 状況報告	A	市の担当と連絡を密にし、相談、報告を受けており、施設の安全性は常に確保されている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか ・市への報告は適時、適切にされているか など	現地調査・基本協定・管理運営教務基準	A	個人情報掲載されている書類の管理状況	A	「青梅市御岳山ふれあいセンター管理日誌」においても施設利用者の個人情報等は、適切に対応し管理されている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	管理日誌	A	管理業務日誌の作成および管理方法	A	「青梅市御岳山ふれあいセンター管理日誌」を適正に作成し、提出を受けている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	緊急連絡網	A	災害発生時の連絡体制を整備済	A	御岳山全体として体制を構築している。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	地元消防団と連携した訓練	A	災害発生を想定した緊急時の対応した訓練を実施	A	感染症防止のため3年度は中止となってしまったが、例年2回実施している。
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	管理日誌・状況報告	A	利用した各事業所からの報告事項により対処した	A	破損、紛失等の報告は無く、適切な財務運営・財産管理がされている。	
事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	管理日誌・状況報告	A	自治会管理上、役員で対応できる範囲で対応した	A	今後御岳山ビジターセンターとの連携事業(動植物の写真展など)を計画しており、利用促進が期待できる。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	基本協定書・管理日誌	A	自治会管理上、役員で対応できる範囲で対応した	A	緊急事態宣言により新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設を閉鎖した時期があり、利用は減となったが、開館可能な時期は、感染防止対策を講じて利用させている。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	管理日誌 口頭報告	A	必要な事項については行政側に要望した	A	アンケートという形ではなく、宿泊利用者から問い合わせを受けたのちに市に報告を行っており、市は口頭受理書で改善等を行っている。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	管理日誌 口頭報告	A	必要な事項については行政側に要望した	A	利用者からの苦情等が1件もありません。宿坊施設のノウハウを活かし、接客対応は問題ないと考えます。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	管理日誌 口頭報告	A	必要な事項については行政側に要望した	A	アンケートという形ではなく、宿泊利用者から問い合わせを受けたのちに市に報告を行っており、市は口頭受理書で改善等を行っている。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	管理日誌 業務基準	A	管理上運用について特に報告書等では問題点はない	A	隣接の御岳山ビジターセンターと連携を行っているとともに、市との連携は適切に行われている。施設設置目的を達成している。
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	管理日誌 業務基準	A	必要な対応は実施している	A	今後についても写真展の実施や、御岳山ビジターセンターとの連携事業などを実施予定である。
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	管理日誌・事業報告書	A	会計簿等を適正に保管している	A	指定管理者事業報告書を提出しており、報告に問題はなかった。
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	現地調査	A	現金は適正に管理している 施設の鍵を適切に保管している	A	利用料の納入など、年度内に適正に処理されている。また、施設の鍵についても担当者により適切に管理を行っている。
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が明確である。	収支決算書	A	赤字決算に陥っていない。	A	収支決算報告書を提出しており、予算と決算に大きな相違はない。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額-経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	会計決算書	A	赤字決算に陥っていない。	A	会計決算書記載のとおり赤字決算になっていない。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	会計決算書	A	借入金に依存した資本構造ではない。	A	借入金は無い。
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	会計決算書	A	事業継続の安全性に不安がない。	A	会事業継続の安全性に不安はない。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	記入欄
S	0	<p>1 業務履行 事業報告書、管理業務日誌の作成及び利用者の対応を適切に行っている。 また、隣接する御岳ビジターセンターと協賛し、施設利用者に御岳山の自然状況等を写真等により紹介し提示していること。</p> <p>2 維持管理 利用の都度、清掃、消毒作業を実施。定期清掃も委託業者により実施されていること。 また、御岳山自治会、同婦人部により、必要と思われる都度、施設内外の掃除を実施していること。 年2回の自衛消防訓練については、感染症予防のため今年度は中止されたこと。</p> <p>3 会計 担当の副自治会長が、帳簿、現金、通帳等を適切に管理している。</p>
A	21	
B	0	
C	0	

2 市の評価、意見等

評点	数	記入欄
S	0	<p>施設内は常に清潔に保たれ、管理されている。 その他の部分についても、基本協定書および年度協定書にもとづき適切に行われている。</p> <p>施設設備の管理については、今後も適切に対応願いたい。</p> <p>今後も利用者のニーズを把握し適切な管理運営に努めてもらいたい。</p>
A	21	
B	0	
C	0	